

第4号様式（第8条関係）

議 事 録

会議名	第2回子ども・子育て会議		
日 時	平成26年2月26日（水）午前10時	開催形態	公開
場 所	東分庁舎2階第3会議室		
出席者	磯川委員長、中澤副委員長、岡本委員、本村委員、久甫委員、菊地原委員、石井委員、中村委員、山本委員、前田委員、橋本委員、佐藤委員 ※事務局…福田健康子ども部長、天野子ども青少年課長、原田主査、赤井主査、門脇主査		
議 題	(1) 子ども・子育て支援事業計画策定に伴うニーズ調査の集計結果について (2) 市町村子ども・子育て支援事業計画における「量の見込み」の算出等のための手引きについて (3) その他		
決定事項	(1)～(2) 了承		
議 事	○議事に入る前に傍聴希望者2名の入室を承認。 1. 開 会 2. 議 題 (1) 子ども・子育て支援事業計画策定に伴うニーズ調査の集計結果について・・・ニーズ調査報告速報により説明 (2) 市町村子ども・子育て支援事業計画における「量の見込み」の算出等のための手引きについて・・・「量の見込み」の算出等のための手引きにより説明 (質疑) ● 委員 確認をさせてください。育児休業の間30について、報告書に記載がされていません。その調査結果が目標量を補正することになる場合の参考となるとと思いますが。 ■ 事務局		

今回の集計報告は、速報なのでお示しできませんでした。また、調査票の中には、保護者の就労状況の中でも、現在育児休業を取得しているかを確認できる項目もあります。

● 委員

先ほど育児休業の取得率が80%程度あるという話は、全国的なことですか。

■ 事務局

はい。厚生労働省（国）が公表している集計値です。

● 委員

希望時間などの詳細については、次回示されますか。

■ 事務局

はい。今回は速報の報告です。今回の会議は、国が「量の見込み」の手引きを示したため、その量の算出方法を中心に報告させていただきました。次回の会議では、町の量の見込みと目標量をお示しする予定ですので、クロス集計等からの分析による詳細な報告をさせていただきます。今回の速報は、単純集計によるものですので、回答者の気持ちがあるまま数値に表れています。保護者の就労状況等から各事業に対して本当に必要としている家庭がどれだけあるかを算出し、次回報告したいと考えています。

● 委員

この先町の人口は、全国的な傾向を見ても減少傾向にあると思います。しかし、保育を希望する人の数は、特に0歳から2歳までは、保育の希望申請や女性の社会進出、社会情勢などを考えると、これから先、子どもの人数は減少しても保育ニーズは高くなると思います。町内の3保育園についても、4月から民設化になりますが、社会ニーズに併せて子ども達の最善の利益を守っていきたいと考えています。子ども青少年課については、保育園や幼稚園、児童クラブなどの現場に出向き、しっかりと子ども達の現状を把握していただきたいと思います。

■ 事務局

ありがとうございます。総合計画でも子ども達の人口は減少傾向にありますし、直近の数値で推計しても減少し

ていくものと思います。ただし、速報でも説明いたしましたが、女性の社会進出が進んでいて、フルタイム雇用率も上昇しています。また国でも、保育ニーズは、平成29年にピークを迎えると推計していますので、町でも計画の中に反映していきたいと考えています。

● 委員

どうしても子育ての調査で出てくることは、子どもを預かることが主体になりがちですが、まだ小さいお子さんで預けるところまで行かない家庭もあります。先の支援が充実していれば、安心して子どもを産むことができます。しかし、就労されていない家庭もありますので、その様な家庭に対しても何か支援していくための施策を計画に盛り込んで行く必要があると思います。

■ 事務局

委員のおっしゃるとおりだと思います。国でもその部分については力を入れているところで、例えば結婚時期から子育てに至るまでの総合的な支援についての補助メニューの創設等もされる予定です。町の新たな計画の中で結婚や出産期からの支援事業を取り入れていきたいと思っていますので、今後検討していきます。

● 委員

今回の結果は、単純集計により保護者から希望を聴いた結果です。アンケートというのは、あるかないかを訪ねれば、あった方がよいと回答される方が多いと思います。この結果だけを鵜呑みにして、計画を策定をすると目標量を間違える可能性もあります。この結果をしっかりと分析して審議していく必要があると思います。今回の報告では、ある程度子育て家庭の気持ちがわかったかと思っています。

(3) その他

■ 事務局

次回の会議日程ですが、当初今年度3回の開催を予定していましたが、国の状況も1ヶ月程度遅れていることから今年度は2回で終了し、4月中旬以降、国の動向を見て3回目を開催していきたいと思っています。

	3. 閉 会	
資 料	○ 会議次第 ○ 子ども・子育て支援事業に関するニーズ調査報告速報 ○ 子ども・子育て支援事業(児童クラブ)に関するニーズ調査報告速報 ○ 市町村子ども・子育て支援事業計画における「量の見込み」の算出等のための手引き ○ ニーズ調査結果に基づく教育・保育の量の見込みの算出方法 ○ 参考資料	
議事録承認委員及び 議事録確定年月日	磯 川 浩 中 澤 博 美	(平成26年3月14日確定)